

2026 年度 9 月修了予定者用

## 修士論文の作成要領

修士論文を提出しようとする者は、本作成要領をよく読んで、修士論文を **1部**、「**所定の書式で**」、「**所定の期限までに**」作成し、経済学部・経済学研究科 学生用 BEEF+ Venture へ提出してください。

「所定の書式で」、「所定の期限までに」提出できないときは、修士論文は受理されません。  
(KIMAP コースは英語で作成すること。)

書式・期限を厳守してください。

### 【提出期限】

令和 8 年 7 月 21 日 ( 火 ) 17時 厳守

### 【論文受付】

令和 8 年 6 月 22 日 (月) ~令和 8 年 7 月 21 日 (火)

※修士論文題目が一文字でも変更になった場合は、必ず論文提出前に「修士論文題目変更届」を BEEF+ Venture で提出してください。

## I. 全般的な注意事項

1. 修士論文は、日本語又は英語で執筆すること。
2. パソコン等での作成を原則とし、ページはA4サイズ・無地・白色を使用して、提出してください。
3. 「要旨」「目次」を必ず作成してください。
4. 論文は「表紙」「要旨」「目次」「まえがき又は序章など」「本文」「あとがき又は終章など」「参考文献」の順番にし、それぞれの間でページを改める。
5. ページ番号を「まえがき又は序章など」「本文」「あとがき又は終章など」「参考文献」の各ページの下につけてください。「表紙」「要旨」及び「目次」は総ページ数に含まれませんので、ページ番号をつけないでください。
6. 縦位置、横書きで、以下の点に注意して作成してください。
  - ・日本語で執筆する場合  
基本的に明朝系 10～12 ポイントのフォントを使用し、1 ページを 38 文字×30 行程度（1,000～1,200 文字程度）に設定して、（扉及び目次を含めず）総ページ数が 18 ページ以上になるようにしてください。
  - ・英語で執筆する場合  
基本的に Times 系 10～12 ポイントのフォントを使用し、上下左右のマージンを 30mm 程度、行間は single space で 1 ページ 40 行程度（520～550 語程度）に設定して、（扉及び目次を含めず）総ページ数が 18 ページ以上になるようにしてください。（本作成要領 7 ページにある英語版の例を参照。）
7. 論文を提出する前に、書式通りに印刷できているか必ず確認してください。書式を満たしていない場合は、論文は受理されません。

## Ⅱ. 書式

1. 表紙（総ページ数には含まれません。ページ番号はつけないこと。）

表紙（1枚目）

	年 月 日提出
	○○○○○○○ -○○○○○-
	指導教員:○○ ○○ 学籍番号:○○○○○ ○○ ○○

(誤)氏名：神戸 太郎  
(正) 神戸 太郎

→

表紙には、提出年月日、論文題目、指導教員名、学籍番号及び氏名を明記してください。

2. 要旨（総ページ数には含まれません。ページ番号はつけないこと。）

<p>要 旨</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p>
---

要旨は1ページ以内としてください。  
フォントについては、Ⅰの6.と同様としてください。  
英語で作成する場合は、「Abstract」としてください

3. 目次（総ページ数には含まれません。ページ番号はつけないこと。）

目次 (例)	
まえがき又は序章	・・・1
第1章 ○○○○○	・・・3
第1節 ○○○○○	・・・3
第2節 ○○○○○	・・・7
第2章 ○○○○○	・・・15
第1節 ○○○○○	・・・15
第2節 ○○○○○	・・・20
.	
.	
.	
あとがき又は終章	・・・40
参考文献	・・・42

「目次」作成にあたっては、次の点に注意してください。

- ① 各章・各節などのタイトルを記入してください。
- ② 各章・各節などの最初のページ番号を記入してください。

4. 「まえがき又は序章など」「本文」「あとがき又は終章など」（ページ番号をつけること。）

「本文」等の作成にあたり、次の場合は指導教員の許可をとってください。

- ① 図表等を総ページ数に含める場合。
- ② 数式や記号を文字数や単語数に含める場合。
- ③ （日本語で執筆する場合）脚注を入れることで1ページ当たりの行数が指定行数（「I. 全般的な注意事項」6を参照）よりも少なくなる場合。

5. 「参考文献」（ページ番号をつけること。）

以下は、参考文献リストの書式の例です。詳細については、指導教員の指示に従ってください。

日本語文献の場合

a) 単行本

著者名（発行年）『書名』発行所。

例) 新庄博（1952）『貨幣論』岩波書店。

b) 論文集（単行本）に掲載されている論文

著者名（発行年）「論文名」、編者名（編）『論文集名』発行所、ページ。

例) 速水融（1967）「日本の経済的近代化における歴史的な前提」、慶應義塾大学経済学会（編）『日本経済の近代化』東洋経済新報社、23-45頁。

c) 雑誌に掲載されている論文

著者名（発行年）「論文名」『雑誌名』巻号、ページ。

例) 高須賀義博（1994）「再生産の局面分析」『経済研究』第25巻第3号、18-27頁。

外国語文献（英文の場合） 邦訳がある場合は原著の後に（ ）をつけて記してください

い。

例 1.

a) 単行本

著者名 (発行年), <sup>イタリック</sup>書名, 発行地: 発行所.

例) Moulin, H. (1983), *The Strategy of Social Choice*, Amsterdam, Netherlands: North-Holland.

b) 論文集 (単行本) に掲載されている論文

著者名 (発行年), “論文名,” in 編者名, ed. (編者が複数のときは eds.),

<sup>イタリック</sup>論文集名, 発行地: 発行所, ページ.

例) Hurwicz, L. (1960), “Optimality and Informational Efficiency in Resource Allocation

Processes,” in K. J. Arrow, S. Karlin, and P. Suppes, eds., *Mathematical Methods in the Social Sciences*, Stanford, CA: Stanford University Press, pp. 27-46.

c) 雑誌に掲載されている論文

著者名 (発行年), “論文名,” <sup>イタリック</sup>雑誌名, 巻, 号, ページ.

例) Moore, J., and R. Repullo (1990), “Nash Implementation: A Full Characterization,” *Econometrica*, Vol. 58, No. 5, pp. 1083-1099.

例 2. 次の例は、American Psychological Association による APA Style にしたがって作成されています。APA Style の詳細については、次のウェブページや文献を参照してください。

- <http://www.apastyle.org/index.aspx>
- American Psychological Association. (2010). *Publication manual of the American Psychological Association* (6th ed.). Washington, DC: Author.

a) 単行本

著者名 (発行年). <sup>イタリック</sup>書名. 発行地: 発行所.

例) Moulin, H. (1983). *The strategy of social choice*. Amsterdam, Netherlands: North-Holland.

b) 論文集 (単行本) に掲載されている論文

著者名 (発行年). 論文名. In 編者名 (Ed.) (編者が複数のときは(Eds.)) ,

<sup>イタリック</sup>論文集名 (ページ). 発行地: 発行所.

例) Hurwicz, L. (1960). Optimality and informational efficiency in resource allocation processes. In K. J. Arrow, S. Karlin, & P. Suppes (Eds.), *Mathematical methods in the social sciences* (pp. 27-46). Stanford, CA: Stanford University Press.

c) 雑誌に掲載されている論文

著者名 (発行年). 論文名. <sup>イタリック</sup>雑誌名, <sup>イタリック</sup>巻, ページ.

例) Moore, J., & Repullo, R. (1990). Nash implementation: A full characterization.  
*Econometrica*, 58, 1083-1099.

ホームページで閲覧し、雑誌、書籍などの印刷形態になっていないと思われるものは、URL と（できれば）閲覧した日付を記入してください。

例) 日本銀行総裁記者会見要旨 (2005年10月16日)

[http://www.boj.or.jp/press/05/kk0510c\\_f.htm](http://www.boj.or.jp/press/05/kk0510c_f.htm) (2005年12月10日閲覧)